

9/27 午後

安倍元首相きよみつ国葬

安倍晋三元首相の国葬が27日、東京都千代田区の日本武道館で執り行われる。首相経験者の国葬は1967年の吉田茂以来、戦後2人目。国内外から約4300人が参列する見込みで、岸田文雄首相は26日、来日した海外要人との「弔問外交」を始めた。

▼3面=短時間で次々会談、4面=ケネディとは異なる、5面=国葬と憲法、9面=客觀性欠く説明、29面=自民党員だけ



日本武道館前で国葬の進行を確認する自衛官ら=26
日午後2時19分、東京都千代田区、小玉重隆撮影

米副大統領らと弔問外交

國葬は27日午後2時から始まる。安倍氏の遺骨が式場に到着後、國歌演奏、默哀ののち、安倍氏の生前の姿が会場で映写される。追悼の辞は岸田首相、衆参両院議長、最高裁判所長官のほか、友人代表として菅義偉前首相が述べる。

國內からは国会議員や知事、各界の代表約360人が参列する。日本武道館に近い九段坂公園には午前8時半から一般向けの献花台が設けられる。海外からは、218の国

根強い懸念、多い反対

國葬の実施は首相が安倍氏死去の6日後の7月14日に表明した。理由として安倍氏の首相在任期間や内政・外交の実績などを列挙し、内閣府の所掌事務として「国葬の儀式」を定める内閣府設置法と閣議決定を根拠に開催を決めた。費用として総額約16億6千万円にのぼる試算を明らかにしている。だが、法的根拠のあいまいさや、費用の不透明さが指摘された。首相は「国民一人ひとりと弔意を強制するものではない」と説明す

るが、懸念は根強い。安倍氏と「世界平和統一家庭連合(旧統一教会)」との関係も問われ、反対論も増加。

朝日新聞が10、11の両日に実施した世論調査では、賛成38%に対し、反対は56%にのぼった。(小手川太朗)

- 安倍晋三元首相の国葬の流れ
(午後2時開始)
- ・ 遺骨式場到着
 - ・ 開式の辞
 - ・ 告儀委員長（松野博一・官房長官）
 - ・ 国歌演奏
 - ・ 黙哀
 - ・ 生前の姿の映写
 - ・ 追悼の辞
 - ・ 告儀委員長（岸田文雄首相）、細田博之・衆院議長、尾辻秀久・参院議長、戸倉三郎・最高裁判所長官、友人代表（菅義偉前首相）
 - ・ 勅使・皇后宮使御拝礼
 - ・ 上皇使・上皇后宮使御拝礼
 - ・ 供花
 - ・ 皇族各殿下
 - ・ 献花
 - ・ 告儀委員長、喪主、遺族、衆院議長、参院議長、最高裁判所長官、友人代表、海外の要人等
 - ・ 遺骨見送り